

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： ハンドボール 専門部
策定日： 令和 4 年 4 月 15 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 別紙参照

2、大会参加条件について

- ・ 別紙参照

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 別紙参照

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 別紙参照

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 別紙参照

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 別紙参照

日本ハンドボール協会が策定した「新型コロナウイルス感染症状況下での安全なハンドボール競技活動について～選手・スタッフ・関係団体のためのガイドライン～」及び公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参考に、京都府高体連ハンドボール専門部は、以下の感染予防対策を策定しました。

1 会場に入場できる人(大会役員、学校関係者、指導者、部員、保護者)について

- (1) 当該試合予定日の2週間前から「健康観察シート」を記入し、試合当日に持参すること。
- (2) 当該試合2日前から「行動記録シート」記入し、各自保管しておくこと。
- (3) 当該試合当日に「出場チーム 検温確認表」を記入し、入場時に大会受付に提出すること。
なお、入場時に本人確認ができない場合は、入場ができないことがある。
- (4) 顧問は必ず、部員とその保護者から大会参加の「同意書」を取り、当該学校長に提出すること。
- (5) 学校関係者、指導者は所属と氏名が確認できるネームホルダーを付けること。
- (6) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

2 試合当日の対策について

- (1) アルコール等による手指消毒、うがいの施行、咳エチケット、マスク持参と必要時の着用、室内の換気を行う。
- (2) 大会役員、チーム関係者など試合会場へ入場するすべての人は、会場入場の際は必ずマスクを着用すること。検温は起床後できるだけ速やかに行い記録すること。なお、37.5℃以上の熱、咳や咽頭痛、倦怠感、呼吸困難、味覚・臭覚に異常がある、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は入場できないこととする。

3 参加校の対策について

- (1) 熱中症対策にも十分に配慮することとし、水分補給を行うときは、各自のペットボトルや、使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回しなどを行わないようにすること。マスクを常時着用すると体力消耗にもつながるので着用の状況を適切に判断すること。
- (2) チームごとに指定された観戦エリアと使用時間を確認すること。ビデオ撮影、補食はこのエリア内で行うこと。飲食は密にならず、周囲の人とは対面を避け会話は控えめにすること。利用後は座席等を消毒・除菌を行い、ごみは必ず持ち帰ること。(消毒する用具は各校で準備すること) また、大きな声での会話、応援等をしないこと。
- (3) 更衣室は、マスクを着用して接触や会話など、人との間隔にも注意して短時間で利用すること。
- (4) 各学校における感染拡大防止対策については、併せて講ずること。